

えがお

(発行) 会長 武藤 勇

(編集) 広報部

〒337-0053

さいたま市見沼区大和田町1-1387-1

電話・FAX 048-687-7935

<http://oosatohigashi.sakura.ne.jp>

大砂土東地区社会福祉協議会は地域にもっとも身近な福祉活動の拠点として、さいたま市社会福祉協議会及び見沼区事務所のご指導をいただきながら、地域の人たちが抱えるさまざまな福祉の課題を、地域みんなの課題として話し合いながら地域福祉の推進をはかることを目的として活動する任意団体です。

## 第14回定期総会開催(平成30年5月27日)



このたび、大砂土東地区社会福祉協議会として、基本構想の実現を目指し異なる領域的な福祉活動を推進するため、地区社協内に地域の福祉関係各位による「第4次地域福祉行動計画策定委員会」を設けて種々協議の上、2018年度を初年度とする5ヶ年の「第4次地域福祉行動計画」を策定いたしました。

地域福祉を推進するには、地域住民の方々のご理解とご協力があってこそできるものと思います。今後とも地域のため、あたたかいご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

## 第4次地域福祉行動計画(2018年～2022年)

①子どもの安心・安全の推進

②子どもと地域住民とのふれあいの推進

③子育て世代家庭福祉の充実

④認知症に対する地域の理解促進

⑤日常生活の困りごとを支援する体制づくり

## &lt;重点実施計画&gt;

## ～基本構想～

子どもから高齢者を含む地域住民の誰もが、  
声をかけ合い安心して暮らせる大砂土東地区を目指す



## 重点実施計画 子どもの安心・安全の推進

平成28年12月から下校時に子どもを一人にしない見守り活動を開始  
大勢土庫小学校をモデルケースとして大和田1丁目西地区でスタート

平成28年9月・「下校時の見守りに関する保護者との打ち合わせ」の依頼状作成

10月・保護者との打ち合わせ実施

- ※無理なく、ゆったりと、出来る人が通学集会所近辺をパトロールする
- ・ローソン前に民生委員児童委員3名が1週間交代で無理のない範囲をモットーに開始



平成29年5月・子どもの見守りボランティア保険に保護者34名加入  
8月・「みんなの家」「みんなのサロン大和田」合同の夏祭りに、子ども連参加を呼びかけ参加者が親子・金魚すくい・ボンボン釣り等を準備してくださり3組の親子が参加  
10月・1年目の懇談会開催(保護者4名参加)  
※各通学団が2週間、又は1ヶ月交代等、話し合う

平成30年現在・ローソン前に立つボランティア1名増  
・子どもは卒業したがこのまま続けてくださる保護者の方も出てきている

## 重点実施計画 認知症に対する地域の理解促進

シニアサポートセンター大和田(地域包括支援センター大和田)との連携にて「オレンジカフェ開催」の行進を開始

### オレンジカフェ(認知症カフェ)とは

- ・認知症の方やその家族、地域の人、専門職など(認知症に関心のある方なら)誰でも気軽に参加でき、交流することができる場です。
- ・認知症の方本人にとっては、自ら活動し地域と繋がることができる場、ご家族にとっては介護についての相談ができる場、地域の方にとっては認知症の方と交流し、認知症についての理解を深められる場です。(さいたま市ホームページ参照)

### オレンジカフェ(認知症カフェ)開催のご案内

#### 大和田

日時：毎月第4水曜日(平成30年9月から毎月開催)  
平成30年9月26日・10月24日・11月28日  
AM10:00~12:00

場所：見沼緑水苑 1階ラウンジ

時間内はいつでもいつでも自由参加です。毎回参加しなくても、来られる時に来て元気になっていただければと思います。

#### 新大塚

日時：毎月第4木曜日(平成30年10月から毎月開催)  
平成30年10月26日・11月22日  
PM2:00~3:30

場所：ティーフェスタ栗大塚 1階食堂

連絡先  
地区社協 (048-687-7935)  
シニアサポートセンター大和田 (048-685-8791)  
見沼緑水苑 (048-680-3780)

## 東大宮自治会

会長 大河戸 千鶴子

地域の皆様には、日頃ご協力を頂き誠に有り難うございます。

東大宮自治会の経緯についてお話し致します。昭和15年4月1日に砂村全域を砂村町内会と合併して発足されました。それから25年間活動を継続しており、その頃この地域は、静かな農村地帯で、会員数は150世帯と聞いております。

その後、区画整理事業が始まり、東大宮駅が建設されて、地名変更に伴い、昭和40年4月1日に東大宮自治会と改名。現在まで活動を続けております。そして町名変更に基づき、岡自治会から分離して近隣自治会が新しく誕生いたしました。現在、東大宮自治会は東大宮1・5・6・7丁目の会員を含め、1410世帯で自治会運営を継続しております。

自治会の特色は東大宮駅に近く、自治会の中央部を第2産業道路が通って居り、インフラ整備も完了し、砂の大塚や万灯等で知られています。その他、公園も大小4カ所管理し、子供達の元気の声も聞かれます。

自治会活動におきましては、会員相互の親睦を図り、環境整備、防災防犯、教養、スポーツ、青少年健全育成、厚生等、あらゆる事業に取り組んでいるところです。なお平成11年に「老人会」「子ども会」を立ち上げ、高齢者と子供達の世代間交流を図る事業を推進してまいりましたが、他の地域と同様「子ども会」は廃止となり、事業を縮減できず残念です。

当自治会が特に力を入れている事業は、防災対策でございます。昨年度、さいたま市の創生を頂き、役員の方で地域を回り、東日本大震災を教訓に、防災マップや、地域防災組織計画書を作成いたしました。また「自助・共助」を基本と考え、自治会期を防災拠点と位置付け、いかなる災害にも対応できるように組織作りを取り組んでおります。

次にクラブ活動として、カラオケ・グランドゴルフ・長寿・健康サロン・老人会等立ち上げました。会員の皆様の憩いの場となっております。

### 大勢土庫地区社会福祉協議会との関わり

#### ▶見守りネットワーク

地区社協で始めた見守りネットワークが、各自治会で受け持つ事となりましたので、当自治会では民生児童委員1人に対し、2名の見守り員を配置。雨期前後や見守り、パトロール等に従事しております。

#### ▶サロン活動

高齢者が活き活きと元気で、を旨として健康体操を行い、その後にはサロン活動を開催。ミニコンサート・雑芝居・安心安全に関する講座・ゲーム・軽スポーツ・折り紙等。民生児童委員と役員スタッフ、そして西部地域包括支援センター大和田(シニアサポートセンター大和田)の皆様と共に開催しております。



#### ▶夏下校パトロール

現在地区社協で力を入れている下校時の子供達の安全問題について、当自治会では子供達の下校時間に合わせて防犯パトロールを開始。勿論従来通り夜間パトロールも並行して実施。以上の様な活動を通じて自治会会員の皆様と共に、明るく住み良い美しい街、しかも安心安全を第一に考えて事業を推進してまいります。結び、大勢土庫地区自治会連合会の皆様と、あらゆる課題を共有して取り組んでまいりましょう。宜しくお願い致します。



### 楽々体操サロン開催 (平成30年4月17日(火) 13:30~14:45 以後、第3火曜日に定期的開催予定)

テーマ：楽しく動いて体を使い、認知症予防のためのサロンです  
対象者：地域の概ね65歳以上の方  
会場：東大宮7丁目自治会館 2階大ホール  
講師：さいたま市運動指導員 五十嵐 加世 様  
定員：30人位(申込制)  
持ち物：室内履き・飲み物・タオル・おれば長寿履き手帳  
費用：100円(会場費・保険代)  
申し込み：地区社協



## ウォークラリー大会

(平成30年4月29日祝日)



青少年育成大砂土東地区会・大砂土東地区体育振興会・大砂土東公民館共催・大宮ウォークラリー連盟北部支那と「ふれあい会食つくしの会」の協力のもと行われました。霧空の中、ご家族や友達同士老若男女のグループが大砂土東公民館を出発していきました。その間につくしの会のボランティアさんがカレーライス作りで大忙し。ゴールした人達に美味しいカレーライスが振る舞われました。参加者達はウォークの疲れもどこへやら、笑顔がこぼれていました。



## 大砂土東公民館のつどい・チャリティバザー

(平成30年5月19日土曜日)



公民館のつどいにおいて「ふれあい会食つくしの会」のご協力でチャリティバザーが行われました。10時前には大勢のお客様がお待ちになり1分早めに開場しました。お気に入りのものが格安で手に入りとても盛況でした。売り上げは会食の会やサロン活動、見守り活動等福祉に役立てられます。皆様のご協力ありがとうございました。



\*\*\* ご協力ありがとうございました 大砂土東公民館・チャリティバザー収益金 118,072円 \*\*\*

## 編集後記

平成30年度の地区社協定期総会が5月27日に57名の参加者で開催されました。

29年度の事業報告・決算報告、30年度事業計画・予算について報告が有り同年度とも満場一致で了承されました。

早いもので来年度は15回目の節目の総会になるので、総務部では記念事業の検討と子ども・高齢者の見守り活動を継続し、事業部ではサロンの充実と「世代間交流事業」を地域の小・中学校と交流して拡大してまいります。広報部は年2回の「えがお」を全園カラーで地元記事を実施していきます。

「第4次地域福祉行動計画」も4月から5ヶ年計画がスタートしました。

基本構想は

「子どもから高齢者を含む地域住民の誰もが、

声をかけ合い安心して暮らせる大砂土東地区を目指す」

を台言葉に、子どもの安心・安全の推進を重点テーマにおいて活動してまいりますので、地元皆さんのあたたかいご協力ご指導のほどよろしくお願い致します。(成)



世代間交流 (平成30年7月25日島小にて開催)

